

★お客さまの声★～ありがとうございます～『保険見直し編』

この度、マネースクールあかりに、保険見直しの個別相談をお願いしました。半年位前、主人の保険の見直しのため、教本のパンフレットを取り寄せ、独自で比較検討しましたが、結局は、手続の煩雑さから、一番手軽に手続が出来るものにしてほしい為、更新時の保険料に不安をかかえておりました。

個別相談では、現状の把握から問題点を明確化し、「万が一のときのみ永年経済的に困る」という点で、その額は「いくらか」ということをわかりやすく説明していただき、必要保障額の算出、希望にあわせて保険プランの提案をしていただきました。

結局、今までの半分の保険料で、今まで以上の保障を確保することができ、とても満足しております。また、複数の保険会社の商品を組み合わせているので、個人でやるよりは面倒な手続もサポートしていただき、スムーズに手続が完了しました。

加入している保険もあつたので、もっと早く出会っていたら、とも思いましたが、今後の負担額の削減、更新時の保険料不安の解消等々を考えると、今回見直しをお願いして本当に良かったと思っております。ありがとうございます。

<浜松市中区在住30代女性>

皆さまからお寄せいただく感謝の声は、私たちがプロとしてFPサービスを提供し、改善し続けるために役立つとともに、この仕事をしていく上で最大のエネルギーとなります。どうもありがとうございます。今回紹介するお客様は、「保険見直しサポートパック」をご利用された中区にお住まいの30代Sさまです。

Sさまは当初、ご自分で保険見直しにチャレンジされましたが、結局「**保険に対する不安を解消できない**」という状態でした。私が講師を務めたマネースクールにご参加いただいたことをきっかけに、Sさまと面談することになりました。そしてSさまは本格的な保険の見直しをご希望されました。

専門家と一緒に保険を見直すことで、「何のための保険なのか」「どのくらいの保障が適切なのか」など**根本の部分から再度検討して**いきました。その結果、ムダな保障は減らし、保障は充実させながらも保険料を下げる事ができました。

「もっと早く出会ってれば…」 「今回見直して本当に良かった」などの

著作・発行、私浜松ファイナンシャルプランナーズ事務所株式会社

運用や預貯金の見直し、保険見直しをご検討中の方は**まずは電話無料相談(0120-493-707)をご利用下さい。**

〒433-8122 静岡県浜松市中区上島2-1-3 1F  
Tel: 0120-493-707 Fax: 053-476-0159 携帯: 090-5616-1263

メール : yamachan0511@ybb.ne.jp  
ホームページ : グーグルで「浜松 FP」と入力して一番最初にでてくる ところ。  
(http://hamamatsufp.jp/)

山中崇寛:すでに、また食べ過ぎてしまったFP!!  
大石ゆき:また来年度も役員決定!頑張ります!保険見直しFP!!  
上野陽子:年末に肩までバツサリ『断髪式』をした(T\_T)事務員!!  
小栗裕子:早速、寝る1時間前に食べてしまった保険見直しFP!!

万が一のときだけでなく、漠然とした老後の不安を解消できます。当社は保険のことだけではなくお金に関する総合的な知識を有するFP事務所です。



# ありがとう通心

2009.2  
第42号  
浜松ファイナンシャル  
プランナーズ事務所

## 今月のピックアップ

- ・バレンタイン(上野)
- ・春からパート?その前に!(大石)
- ・娘のスケート仲間(!?)(上野)
- ・えっ、こんなのあったんだ!!(小栗)
- ・お客さまのご感想!ありがとうございます。

今年もインフルエンザが流行してしまいました。皆様は大丈夫でしたか?(上野)

## ■バレンタイン

2月と言えばバレンタインですね。正確に言うと『St.Valentine's Day』と言い、世界中で男女が愛の誓いをする・・・という日です。

例えば、ヨーロッパでは、男性も女性も、ケーキや花などにカードを添えて贈ったりします。

アメリカでは、女性から男性にも贈り物をする事もありますが、男性から女性に贈る方が多いようです。ただし、日本の様に『義理』という習慣はなく、好きな人やパートナーに贈ります。ヨーロッパのように花とカードが一般的ですが、ジュエリーなど実用性のある物を贈る事も多いそうです。

では、なぜ日本ではチョコレートを贈るか・・・と言うと、その歴史は1936年までさかのぼります。その年に、神戸モロゾフ洋菓子店が『バレンタインチョコレート』の広告を出した事が発端だと言われています。しかし、その広告ではほとんど売れなかったそうです。

1960年代に森永製菓が新聞キャンペーンをしたり、製菓会社が積極的に動き出し、現在の『バレンタインチョコ』が一般化したようです。

今現在のチョコ文化は、とても多様化しています。

『義理チョコ』はもちろんご存じですよね。他にも、『友チョコ』・・・女性から女性へ。友情の印。

『逆チョコ』・・・男性から女性へ。私はいつでも大歓迎です(笑)

『マイチョコ』・・・女性が自分へのご褒美として自分で食べるため。私は年中『マイチョコ』です(^\_^)

娘(小3)のバレンタイン事情は、もちろん学校にチョコを持って行ってはいけないのですが、持って来る子が数人(もっと!?)いるのが現実です!!

今まで、娘は持って行かなかったのですが、今年はクリスマスに、兄に『チョコポット』と言う可愛いチョコを作る道具(玩具)を買ってもらったので、作る気満々です♪学校に持って行くかは・・・ひ・み・つ・・・です(\*^\_^\*)(上野)



←チョコポット



## 「4月から仕事をしようかな…」 と考えている主婦の方 必見！！



こんにちは、大石ゆきです。この春、長男はとうとう中学生になりますが、これをお読みの皆様の中にもお子様が幼稚園や小学校に入学されて「これをきっかけに仕事を始めようかな!!」と求人情報誌を手にとる機会が増えてきた方もいらっしゃると思います。

でも「夫の扶養の範囲内で？それともいっそのこと扶養から外れても、たくさん稼いだ方がトク？」と悩まれる方が多いと思います。今回は主婦のパートの年収のカベについて簡単にご説明o(^▽^)

皆さんはよく103万円、130万円という数字を聞かれると思います。これをもう少し詳しく説明しましょう。まず、年収が約100万円を超えると住民税がかかるようになります。これはそんなに高額ではありません。そして次に103万円を超えると、所得税がかかるようになります。が、この金額もこの段階ではそれほどでもありません。ただ、ここで一つ注意!!夫が会社から配偶者手当を受けている場合、妻の年収が103万円を超えるとこれがもらえなくなります。(配偶者手当の金額は会社によって異なります。)これは少し大きいです。また、夫の所得控除額も減ります。さらに130万円を超えると夫の社会保険の扶養からはずれ、妻は妻で社会保険料を負担することになります。

「ん～？結局どうすればいいの～!？」と思われた方は、130万円以下(配偶者手当は考えない場合)に抑えるか、または160万円を超えるとあとは手取りは増える一方ですので、参考にして下さい☆～(ゝ。o)(あくまで目安です。)

「ん～？結局どうすればいいの～!？」と思われた方は、130万円以下(配偶者手当は考えない場合)に抑えるか、または160万円を超えるとあとは手取りは増える一方ですので、参考にして下さい☆～(ゝ。o)(あくまで目安です。)



## 娘のスケート仲間(!?)



上野陽子です。先月の祝日に、私は仕事だったので、娘(小3)はおじいちゃんとスケートに行きました。おじいちゃんは見ているだけですが…

午前中は、偶然一緒になった学校の同級生と滑っていたのですが、お昼で帰ってしまったらしく、まだ滑り足りなかった娘が滑っていたら、20歳くらいのカップルと一緒に滑ってくれたそうです!!

とても良くしてもらったらしく、娘は大喜び♪ 帰る時には「また一緒に滑ろうね!!」と、カップルの携帯番号を書いてもらって来ました(@\_@)

メールアドレスを書いてもらって来たならお礼のメールをしようと思ったのですが、電話番号だけだと、お礼の電話をする事はためらってしまいました(\*\_\*; とても良くしてもらってお礼を言わないのも気が引けるので、済みません、2人には届かないかもしれませんが、この書面をお借りしてお礼を言いたいです。

Kちゃん・Kくん、せっかくのデート中に娘と遊んでくれてありがとうございました<(\_)\_> もし、どこかでお会い出来たら、直接お礼を言わせて下さい!!

少しスッキリしました(\*^\_^\*) ちなみに、娘は計5時間半も滑っていたそうです(^\_^;) そして、また今度も行く気満々です(笑)



## えっ、こんなのあったんだ!!



こんにちは。しもやけが足に出来るほどの(私だけ??)寒い毎日皆さんいかがお過ごしですか?

先日、とあるセミナーに参加してきました。「こんなものがあったなんて・・・」内容は学資積立についてのものだったのですが、私が知っているのはかんぽ生命(旧郵便局)の学資保険か、民間生保のこども保険

他にはこども共済くらいでした。ちなみに、我が家は姑が孫の為にかんぽ生命の学資保険に入ってくれていましたので、亡くなってからは私が引き継いで払っていました。

トータルの支払金額と、受取れる保険金額を計算してみると・・・ナント、マイナス5万円でした。しかも、前納(年払をまとめて払い込む)したにもかかわらず・・・「保障にまわってしまうんだ～」と痛感しました。せっかく姑が掛けてくれたもの。やめるのも・・・と思い、払い終えてしまいました。

現在、人気がある学資積立といえばS社がありますが、保障を極力ゼロにして、教育費積立に特化したものです。教育費といえば、15年前は4年大学へ行くと900万円といわれていました。今は1,300万、15年後はなんと2,000万掛かるといわれています。

「チロルチョコレート10円が20円になった」とは、全く比較にならない物価上昇率ですよね?? ところが、今回知った学資積立は違ったんです。元本と利子が100%保障、他にもメリットがたくさんありました。 →次回へつづく

## 受験シーズン!! 受験と言えば…?!

スタッフに聞く

自分の受験は随分前なので息子の受験について。中学から高校へは部活推薦で入りました。したがって、受験勉強というものは、一切せず。そのせいかな今もクラス順位は下から数えた方が早いです。(トホホ・・・)



最近の小学生の中学受験の実態にビックリ!! 我が子の通う小学校では、6年生38人中、公立私立含めて受験したのは、ナント19人!! 5割が受験していました。私の頃には考えられない……!! (〇\_〇:)

おぐり

私の大学受験の時は、いろいろな事がありました。そのキーワードは「風邪」「雪」「電車ストップ」「地震」「またまた電車ストップ」です。。詳しくは、次回のあいかとう通心にて!!

おおいし



うえの

